

令和8年度予算編成方針

総務部長

市制誕生二十周年を迎え、これまで事業・施策の7本柱及び5つの方針・目的のもと、全てが「移住・定住の促進」につながるよう展開してきた結果、人口は自然減を社会増が補い微増あるいは現状を維持し、合計特殊出生率も前年対比プラスに転じている。また、戦略的企業誘致の推進や地場産業振興の着実な成長により、定額減税による減収の影響があったものの令和6年度の市税収入は過去2番目の高額となった。

今後も、激甚化・頻発化する自然災害への安全安心対策は最重要施策であり、併せて「老朽化する公共・生活インフラの整備と民営化」「スマートインクルーシブシティ構想」の推進、令和7年度に掲げた「能美市役所本庁舎防災・機能強化事業」「能美市立病院の今後の在り方」「能美根上駅周辺活性化整備事業」「エコシティの実現」に加え、次年度には「小中学校舎の長寿命化」「施設跡地の活用」など大型事業も目白押しである。

その一方で、社会保障経費の増大や人件費・物価高騰、長期金利の上昇などを背景に、これら課題に向き合い、或いは大型事業などへの財源を、どのように確保していくのかが最大のミッションであり、社会情勢の変化を的確に捉え市民の声に耳を傾け、全職員が一丸となって事業・施策へ果敢に取り組めることが前提となる。

令和8年度は、一年後の完成を目指す「能美市総合計画」に着手する年でもあり、全ての事業・施策をスクラップ&ビルドしながら実りを感じられる「行財政改革」に取り組む一年でもある。30年、50年と続く能美市の未来に向けて、「暮らしやすさを日本一、実感できるまちづくり」の実現を目指し、更なる飛躍と足元を固める年となるよう、次に定める方針・目的により令和8年度の予算編成を行う。

事業・施策の7本柱

- | | |
|--------------------|--------------|
| ① 安全安心のまちづくり | ② 子育て・住環境の充実 |
| ③ 地場産業振興・企業誘致・人財確保 | ④ 教育力の向上 |
| ⑤ 交流人口の拡大 | ⑥ シティプロモーション |
| ⑦ 行財政改革 | |

5つの方針・目的

- ① 「安全安心で快適な地域共生社会」：市民の生命と財産を守ることを最優先に取り組み、デジタル技術や市民力・地域力を活かし、医療・福祉の充実を図り地域共生社会を実現。
- ② 「知名度・魅力度の向上」：ウェルビーイング指標の向上とふるさと愛の醸成を目指し、市内外の住民や事業者から選ばれる地域、仕事や余暇を楽しむ場づくりと情報提供。
- ③ 「こどもまんなか社会」：妊娠期から青年期まで切れ目のない支援体制と明るく元気に学校生活を過ごせる環境を整備し、一人でも多くの子どもを産み育てやすい社会を創出。
- ④ 「自然環境に優しいまちづくり」：日本の原風景や自然を守り、地球温暖化対策の推進、資源の有効活用、農林業の振興、公共交通の利用促進、環境教育の推進を全市民が参加参画するSDGs未来都市として実行。
- ⑤ 「将来を見据えた行財政改革」：健全化判断比率の維持・改善、基金に頼ることの無い財政運営を目指し、全ての事業・施策のスクラップ&ビルドを推進。

その他

- ・補正予算は制度改正、災害関連経費など止むを得ないもの、真に喫緊の課題解決に係るもの又は当初予算編成の中で協議したもの以外は、原則、行わない
- ・国、県の各種制度改正や新規財政需要の増加等がないか、常にその動向を注視すること
- ・具体的な予算要求の方法等は別途財政課長通知（予算編成要領）を熟読のこと

以上